

■第四次草加市総合振興計画基本構想[改訂]・第三期基本計画（素案）に係る
パブリックコメント実施結果について

1 意見募集

- (1) 募集期間 令和5年（2023年）5月20日から令和5年（2023年）6月19日まで（31日間）
 (2) 募集結果 提出人数 55人（うち無記名4人）
 提出意見 122件（うち無記名6件）
 （うち同種意見2件）

2 寄せられた意見に対する市の考え方

「第四次草加市総合振興計画基本構想[改訂]・第三期基本計画（素案）」に対し募集期間中に寄せられたご意見について、次のとおり市の考え方を公表します。

頂いたそれぞれのご意見の内容は、施策名や施策体系などの大きな方向性に関するご意見と、個別具体的な要望、市政全般についての要望に分けられるものと捉えております。

また、「快適な環境」「安全と安心」「活気の創出」「地域の共生」「地域経営を進める市役所」という中目標においては、特に「安全と安心」及び「地域の共生」に関するご意見が多くなっており、今まで以上に安全性の高いまちづくりを進めるとともに、地域の方々と連携を図りながら、引き続き各取組を推進してまいります。

市民の皆様から頂いたご意見につきましては、全市的に共有し、第四次草加市総合振興計画基本構想及び第三期基本計画の確実な計画の実行に向け、取り組んでまいります。

※基本構想・基本計画に対する意見募集であることから、個別具体の事項に関わるものは、具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。

※氏名等無記名の意見は、回答を要しない意見として取り扱います。

※同種意見2件については、1つの意見としてまとめています。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
1	電線の地中化 (氷川町から獨協大学エリア)	電線の地中化につきましては、施策6の【施策の柱と方針】において、無電柱化を推進してまいります。そのため、災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、草加市無電柱化推進計画に基づき、無電柱化の整備を進めてまいります。
2	道路の高規格化	円滑な都市活動の推進を図るためには、高規格幹線道路(高速道路)を補完し、自動車専用道路またはそれと同程度の機能をもつ質の高い道路である「地域高規格道路」の整備が必要であると考えております。当該事業につきましては、埼玉県が中心となり、整備を進めていることから、今後においても、国や県と情報共有を図りながら道路の体系的な整備を図ってまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
3	下水道の管理強化 (悪臭撲滅)	草加市の公共下水道の整備につきましては、埼玉県生活排水処理施設整備構想において、持続的・安定的に生活排水処理のサービスを提供することを目標としています。埼玉県と連携を図りながら、水洗化率の向上に向けた取組を推進しながら、悪臭等の課題を含め、下水道の管理強化を進めてまいります。
4	雑草の除草	施策 3「環境を守り育てる」の【施策の柱と方針】では、「生活環境の保全」を掲げており、第二次草加市環境基本計画においても「環境美化対策の推進」を取組方針としています。今後におきましても、引き続き、魅力的で快適なまちなみを形成・維持していくために、取組を推進してまいります。
5	街並みの整備 (多少の制限)	現在、国全体で人口減少が進んでおり、本市の人口も緩やかに減少していくことが予想されています。今後到来する超高齢化社会・人口減少社会に向けては、高年者・子育て世代・子どもなど、あらゆる人がいつまでも安心して暮らせる快適都市の実現を目指していく必要があると考えております。施策 4「良好なまちづくりの推進」の【施策の柱と方針】に基づき、良好なまちづくりの推進に向けて取組を進めてまいります。
6	災害時避難所の高度整備による安心感の醸成(非常食備蓄、非常時トイレの確保、核シェルター)	近年、全国的に地震や台風などの自然災害が多発しており、今後想定されるあらゆる自然災害への不測の事態に備えるため、災害時の危機管理体制の強化が急務であると認識しております。事前防的観から、大規模自然災害等への迅速な復旧・復興などに資する施策を定めている「草加市国土強靱化地域計画」や発災後の応急対策などを定めている「地域防災計画」を適宜改定するとともに、それに基づく災害時の避難所整備を進め、災害に強い安全で安心なまちづくりを推進してまいります。
7	共同体としての機能強化(世田谷区との提携)	自治体間の連携につきましては、市民ニーズに対応した効果的な行政サービスを提供するための効果的な手法の1つであると考えております。他市町村の先行事例などを参考としながら、共通課題などの解決に向けて、他自治体との連携について検討してまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
8	市民参加型による「草加越谷レイクタウンライアスロン」の実現	「草加市スポーツ・健康づくり都市宣言」を掲げている本市では、全ての市民が生涯にわたり、スポーツを通じて健やかな心と体をつくり、連帯の輪を地域に広め、健康な明るいまちづくりを進めていくことを目指しています。頂いたご意見につきましては、今後のイベント実施の際の参考とさせていただきます。
9	「草加市スポーツリクルダウン宣言」(徐々にスポーツ人口が増える)	施策 32「スポーツの推進」の【施策の意図】については、「だれもが、いつでも どこでも いつまでもスポーツに取り組める環境をつくります」としており、スポーツ人口の増加に向けた取組が必要だと考えております。今回頂いた意見につきましては、今後の方針の参考とさせていただきます。
10	健康情報の発信(スポーツイベント)	施策 32「スポーツの推進」の【施策の柱の方針】においては、「生涯スポーツの推進」を掲げており、市民の方のスポーツに対する関心を高めながら、市民ニーズに合ったイベント等の健康情報の発信を進めてまいります。
11	公園の外周のランニングコース化	ランニングは、身近な場所で気軽に取り組むことのできる運動であり、スポーツを通じた健康づくりの観点からもランニングコース等の環境整備は重要であると認識しております。施策 2「みどりの保全と公園の再生・活性化」の【施策の意図】では、パークマネジメントの視点から公園の再生・活性化を進めるとしており、【施策の柱と方針】においても、地域の拠点となる公園の機能改善について記載しております。今回頂いたご意見につきましては、公園の機能改善に向けた取組の参考とさせていただきます。
12	1km 程度のノンストップ自転車コースの整備	自転車コースの整備につきましては、草加市都市計画マスタープランにおいて、自転車が安全に通行できる環境づくりを進めるため、自転車通行空間の整備区間を定めております。頂いたご意見につきましては、事業実施の際の参考とさせていただきます。今後につきましては、安全で円滑な交通を推進するとともに、より多くの方が自転車を活用した運動等に安心して取り組んでいただけるよう、事業を進めてまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
13	プールの施設整備	市民温水プールにつきましては、令和 7 年度(2025年度)の供用開始を目指して整備を進めているところでございます。施設概要としては、25mプール、幼児用プールに加え、健康増進のため、水中でストレッチ運動やマッサージを行うプールであるバーデプールの整備を予定しており、温浴施設や交流スペース、スタジオなどを含め、市民の皆様に快適にご利用していただけるよう、引き続き市民温水プールの整備を進めてまいります。
14	総合運動場の整備	総合運動場の整備につきましては、施策 32「スポーツの推進」の【施策の柱と方針】の生涯スポーツの推進において、官民連携による施設の利便性向上や施設管理コストの削減のため、適正な管理を進めるとしてまいります。今後におきましても、「草加市施設整備計画」に基づき適切な整備を進めてまいります。
15	公民館に運動用具を整備(高齢者への配慮)	公民館の整備につきましては、施策 30「学びの成果が発揮される生涯学習社会の推進」の【施策の柱と方針】において、施設の整備や生涯学習環境の充実についての取組を記載しています。頂いたご意見につきましては、今後の施設整備の際の参考とさせていただきます。
16	ベビーカーで出歩くようになり、でこぼこした道や細すぎる歩道・歩道のない道路が多いと感じたので少しずつ減ってほしい。	市内の道路につきましては、道路に空いた穴、ひび割れや段差の解消などについて、市民の皆様から多くの要望を頂いているところでございます。本市としましては、ベビーカーを利用する子ども連れの方々、高齢者及び障がい者の方々など、誰もが安全かつ安心して通行できるよう、日々道路パトロールを行い補修等の対応に努めております。また、狭い道路につきましては、適切な用地の確保を行い、道路幅員の確保に努めてまいります。
17	子育てをしてみて想像よりもたくさんのお金が必要だと感じた。第二子以降も考えられて、安心して草加市で子育てができるよう、子育て支援の推進について、特に応援したい。	施策 19「子育て支援の推進」の【施策の意図】では、「子育て環境を整備し、子どもたちの健全な育成を図ります」としてまいります。また、【施策の柱と方針】においても、子育て支援及び情報発信、安全安心な保育の推進、子どもの発達支援、子育てへの経済的支援などを掲げており、包括的な観点から子育て支援を推進することとしています。頂いたご意見を参考としながら、効果的な施策を検討してまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
18	公園の再生・活性化について。春の美化運動の際に何か所か視察に回ると聞いた。是非弁天公園にも立ち寄って頂き市長の心意気をお聞きしたい。	公園の取組につきましては、施策 2「みどりの保全と公園の再生・活性化」に位置付けております。頂いたご意見は担当課へ情報提供するとともに、今後におきましても公園の再生・活性化に向けた効果的な施策を検討してまいります。
19	計画を推し進める為の草加市のイメージカラーについて、若草色と薄紫色の二色が相応しい。	市のイメージカラーにつきましては、ホームページやイベント等、様々なシーンにおいて統一して継続的に使用していくことで、市の目指す方向性や理念などを多くの皆様に印象づけることのできる非常に重要なブランディングツールであると考えております。今回頂いたご意見につきましては、計画の推進に当たっての参考とさせていただきます。
20	小目標の「水とみどりのまちづくり」の施策 1「水環境の保全」の施策の意図について、「身近な河川を保全します」だけでは弱いのではないかと、河川をもっときれいにして、市民が身近な水辺で憩い、親しんだりできるよう整備し、市民も参加できるようにした方がよい。	施策 1「水環境の保全」の【施策の意図】にある「河川の保全」につきまして、「第二次草加市環境基本計画」では、「水環境の保全と創造」を環境目標として掲げております。また、【施策の柱と方針】においても、「水質浄化対策の推進」、「親水空間の創造」の方針等について記載をしており、施策の意図の「河川の保全」には水質浄化と親水空間の創造の両者の要素が含まれていると認識しております。今後におきましても、水質改善のための河川浄化対策や市民の方が水辺に親しめるような親水空間を創造するとともに、健全な水環境の確保と保全に取り組んでまいります。
21	施策 2 の「みどりの保全」の表現については、消極的な表現に感じるのでは、もっと積極的にみどりを増やす方向を示す表現にした方がよい。例えば、「みどりを増やし、公園を再生・活性化する」など。街路樹を増やすとか、樹木を守るグリーンバンクを作るとか。	施策 2 につきましては、近年公園に求められる役割・機能が変化してきていることもあり、現行の公園の整備に注力していく必要があることから、施策名を「みどりの保全と公園の再生・活性化」としているところでございます。また、「草加市みどりの基本計画」においては、公園・広場・学校施設のオープンスペースなどの都市の景観を構成する要素も含めて幅広いイメージで「みどり」という言葉を用いており、公園の再生・活性化の中で、公園内のみどりの創出を含めた形で地域の拠点となる公園の機能改善を進めてまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
22	小目標の「環境との共生」という表現が分かりづらい。例えば、「快適な生活環境づくり」など。具体的には「草加宿」を活かした街並みづくりの推進、廃屋の整理、開渠をなくす、看板の規制など。	小目標「環境との共生」に位置付けられる施策の内容として、生活環境づくりに加え、脱炭素社会の推進や循環型社会の構築といった自然環境に関わる内容もあることから生活環境も含み「環境との共生」としています。具体的な内容につきましては、事業実施の際の参考とさせていただきます。
23	中目標の「安全と安心」は重要なテーマであり、一に防災、二に防犯、次に交通安全など。具体的には建築物の耐震性へのシフト、施策 7「総合的な治水対策の推進」、最近多い異常気象の備えなど。つまり、施策の順番を優先度に応じて整理した方が良い。	「安全と安心」につきましては、まちづくりの原点である重要な要素の1つであることから、今後においてもまちの安全性を高めるための効果的な施策を進めてまいります。頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
24	小目標の「良好なまちづくり」について、当たり前すぎるためインパクトがない。中目標が「安全と安心」というキーワードであれば、小目標の「安全性の高いまちづくり」にまとめた方が良い。	今後人口減少が予測される少子高齢化社会におきましては、適正な土地利用と人が集まる拠点づくり、拠点と拠点、拠点と生活の場などを結ぶネットワークづくりなど、各地域の拠点づくりが重要となっていることから、小目標を良好なまちづくりとしています。今後におきましても、「だれもが幸せなまち」の実現に向けて、「良好なまちづくり」を目指すための効果的な取組を進めてまいります。
25	施策 5「交通利用環境の改善促進」の表現について、例えば「利用しやすい公共交通網の整備」とか、イメージが湧くような表現にした方が良い。	頂いたご意見のとおり、施策名及び施策の柱につきましては、「利用しやすい公共交通網の整備」へと修正をさせていただきます。
26	施策 6「安全で快適な道路の整備」の施策の意図について、「道路機能の維持と向上を図ります」より「安全な道路機能の維持と向上を図ります」のような表現の方が良い。	頂いたご意見を踏まえ、施策の意図につきましては、「安全で快適な道路機能の維持と向上を図ります」へと修正させていただきます。
27	施策 8「交通安全対策の推進」は、小目標の「安全で円滑な交通」にまとめた方が良い。	施策 8「交通安全対策の推進」は、市民の皆様を交通事故から守ることを施策の意図としており、施策の柱として「交通安全意識の啓発・高揚」及び「円滑な通行の確保」としており、交通利用環境が整備された上で市民の安全の向上に資する取組を内容とする施策であるため、小目標「安全性の高いまちづくり」に位置付けています。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
28	<p>施策 11「安全・安心な消費生活の推進」について、消費者トラブルに遭うのは、消費者が自立していないからだと思える恐れがある。昨今の詐欺犯罪などは巧妙で、単に消費者の自立を促せば簡単に防げるものなのか。警察などと連携して地域ぐるみで防ぐなど、もっと考えた方がよい。</p>	<p>特殊詐欺被害の防止については、これまでも市職員、警察官及び地域防犯推進委員が合同でお住まいを戸別に訪問して、啓発チラシを投函するとともに、面談できた際には、特殊詐欺の被害防止を直接呼びかける活動を実施してきました。今後においても、継続的な取組を進めてまいります。</p>
29	<p>施策 13「安定した汚水処理の推進」については、内容的に小目標の「経営手法の導入」の中に入れて方がよい。</p>	<p>本市としても、施策 13「安定した汚水処理の推進」において経営という視点は重要と考えておりますが、同時に安定的な事業運営のために、事業運営体制も重要であると考えているため、小目標「安全性の高いまちづくり」に位置付けた上で、施策の柱として「経営の安定化」と「汚水処理体制の構築」を掲げています。</p>
30	<p>中目標の「活気の創出」の小目標となる「心地よい風景づくり」について、中目標の「快適な環境」に入れたらどうか。</p>	<p>小目標「心地よい風景づくり」に含まれる施策の内容は景観づくりとなっており、景観づくりを推進することは、生活環境だけでなく、自然や歴史・文化・伝統的資源、建築物などの対象を守り、いかして良好な眺めを作ることです。このような良好な景観が都市に形成され、展開されることにより、市民に地域への愛着や誇りが育まれるとともに、市外に本市の魅力が発信され、多くの人々の来訪や消費が生まれるなどの効果もあると考えられることから、中目標「活気の創出」に位置付けています。</p>
31	<p>活気の創出の項目では、祭りや演劇などの文化・芸術のソフト面からの賑わい創出を考えた方がよい。</p>	<p>中目標の「活気の創出」につきましては、産業や観光の振興、勤労者福祉、心地よいまちづくりの推進などが関連する施策となっております。頂いたご意見を参考に賑わい創出のための効果的な施策を進めてまいります。</p>
32	<p>施策 18「総合的な高年者施策の推進」にて高齢者の自立について謳っているが、独居や年金暮らしの余裕のない高齢者が増えている中では、そうした高齢者を地域で支えることで、安心して地域で自分らしく暮らせるのではないかと懸念がある。</p>	<p>施策 18「総合的な高年者施策の推進」では、高年者の自立だけでなく、高年者の方の生活を支えるための方針等について記載をしております。【施策の柱と方針】の「高年者を支える環境づくり」や「社会参加と生きがいづくり」では、地域における包括的な支援体制を構築するための環境整備や地域社会への参加についての方針を掲げており、今後においても高年者の方が地域で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、取組を進めてまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
33	小目標の「みんなで取り組む子育て」について、困難を抱えた家庭などへの子育て支援、幼保学校などの保育・教育機関の充実、地域社会が取り組む子育て、家庭、保育・教育機関、地域の連携など、それぞれ機能に分けて施策を整理した方が分かりやすいのではないかと。	子どもに関する施策につきましては、それぞれの関連施策の【施策の柱と方針】の中において、項目ごとに取組の方向性を示しております。今後におきましても、現代のニーズに合う施策となるよう慎重に検討するとともに、きめ細かい支援に繋がるよう取組を進めてまいります。
34	施策 25「地域福祉の推進」について、抽象的な内容だが、それを支える地域の福祉団体や機関、個人などをどう行政として支援するのか、もう少し分かり易く説明があった方がよい。	地域福祉団体や個人への支援策等につきましては、現行においては「第 2 次草加市地域福祉推進基本方針」に記載しており、基本理念を「自立・共存・支えあいのまちづくり」とし、目指す地域像などの方向性を定めているところでございます。今後におきましても、効果的な取組を進めてまいります。
35	施策 29「人権の尊重」について、精神を養うだけで片付けて良いのか。 障害者や外国人、性的マイノリティなどへの差別を許さないなど、自治体としてもっと強い意思表示があっても良い。同性婚のパートナー認証など自治体として、踏み込んだ表現があっても良い。	本市では、差別や偏見などによる人権侵害のない社会の実現を目指し、様々な人権施策をさらに図るため草加市人権尊重都市宣言を制定し様々な取組を進めています。具体的な取組につきましては、今後事業実施の際の参考とさせていただきます。
36	小目標の「草加らしい豊かな暮らし」は意味が不明。「草加らしいまちづくり」なら分かるが、「草加らしい豊かな暮らし」とは何？	小目標「草加らしい豊かな暮らし」では、生涯を通じた学びや、文化芸術、スポーツなどに関連する施策がひもついております。本市では、だれもが健康で、自分の興味に応じて様々な活動を行うことができ、充実した生活を送れるような状態を「草加らしい豊かな暮らし」としてしております。
37	施策 30「学びの成果が発揮される生涯学習社会の推進」は、中目標の「地域の共生」へ入れられると思う。	施策 30「学びの成果が発揮される生涯学習社会の推進」につきましては、今回の素案及び現行の第二期基本計画においても、中目標「地域の共生」の中に含まれているところでございます。
38	施策 31「草加らしい文化の創造」、施策 32「スポーツの推進」、施策 33「心と体の健康づくり」については、中目標「活気の創出」へまとめられるのではないかと。	本市では、草加らしい豊かな暮らしとして、だれもが健康で自分の興味に応じて様々な活動ができる充実した生活を送れるまちを目指すという観点から、ご意見に記載の施策につきましても、草加らしい豊かな暮らしの小目標に位置付けているところでございます。頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
39	<p>施策 34「医療環境の充実」は中目標「安全と安心」にまとめられるのではないかと。</p>	<p>中目標の「安全と安心」につきましては、まちづくりの原点である安全と安心をもう一度しっかりと見直し、まちの安全性を高めることを目指しておりますが、施策 34「医療環境の充実」につきましては、中目標の「地域の共生」の多様な市民が、個人として尊重されながらいきいきと暮らしていける施策と位置付けております。頂いたご意見を参考に、効果的な取組を進めてまいります。</p>
40	<p>学校給食の充実について、もう少し充実させて無農薬野菜や添加物を使わない安全・安心な給食にしてほしい。</p>	<p>学校給食の充実につきましては、「草加市教育振興基本計画」において具体的な目標等を定めております。また、施策 20「幼保小中を一貫した教育の推進」においても、学校給食の充実についての方針を定めています。今回頂いたご意見を参考とさせていただきます、安全・安心な学校給食に関する取組を推進してまいります。</p>
41	<p>食育に関連する SDGs 課題について。</p>	<p>食育につきましては、地域の食育応援農家(学校給食食材の農産物を供給する市内の農家)と学校が連携し、地産地消を推進するほか、児童生徒自ら栄養バランスを意識した食事ができる食生活に向けた授業を展開しています。頂いたご意見につきましては、具体的な事業を推進するに当たり、参考とさせていただきます。</p>
42	<p>生活保護者の生活を見ていて羨ましく思うことがある。高齢者にも目を向けてほしい。</p>	<p>施策 18「総合的な高年者施策の推進」の【施策の柱と方針】の中において、高年者を支える環境づくりや自立支援、介護保険事業の充実等を掲げております。頂いたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます、高年者の方々に対する効果的な取組を進めるとともに、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らすことのできるまちを目指してまいります。</p>
43	<p>川辺を整備し、ウォーキングをできるようにしてほしい。または、サイクリング道路を作って欲しい。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、具体的な事業を検討する際の参考とさせていただくとともに、今後におきましても、市民の皆様が安心して暮らすことのできるまちの実現に向けて、持続可能性が向上するまちづくりを推進してまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
44	<p>パリポリくんバスがあまり利用されていないようであるため、足立区のバス利用と同じく半年 1,000 円を支払い、いつでも乗れるようにしてほしい。</p>	<p>パリポリくんバスにつきましては、市内の交通不便地域の解消を目的として平成 28 年(2016 年)から導入しておりますが、引き続き、利便性の高い公共交通の確保が求められていると認識しております。このため、施策 5 の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、(中略)地域の实情に合った公共交通の方向性を検討」するとしています。地域の皆様の暮らしの足を支えるパリポリくんバスにつきましては、社会情勢や交通環境の変化を丁寧に捉えながら、引き続きバス事業者、地元の方と連携、協力して、地域の实情に合わせた事業展開を検討してまいります。</p>
45	<p>瀬崎 4 丁目の側溝について、蚊の様な虫が多量に発生しているので整備をお願いしたい。</p>	<p>側溝の整備等につきましては、施策 7「総合的な治水対策の推進」の【施策の柱と方針】に基づきながら、ご要望を頂いた箇所の排水施設等の点検を実施し、異常がある場合は速やかに消毒、清掃及び修繕等を進めております。頂いたご意見につきましては、担当課に情報提供をさせていただき、排水施設等の適正な管理に努めてまいります。</p>
46	<p>道路添いに草が茂っているので、花の種を植え花のある美しい町にして欲しい。</p>	<p>快適な都市を形成する上では、心地よい風景づくりが欠かせない重要な要素と考えております。市で暮らす人がまちに愛着を感じたり、市を訪れた人がまた訪れたいと思ってもらえるようなまちづくりの推進に向けて、頂いたご意見につきましては、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
47	<p>外環道下部分を通して消防署までの道路がガタガタであるため、早く何とかしてほしい。</p>	<p>道路の整備につきましては、施策 6「安全で快適な道路の整備」の【施策の柱と方針】の 1 つに「道路の保守」を掲げております。今後におきましても、職員による道路パトロールに加え、市民の方々から情報を頂けるような電子通報システム等を運用しながら、迅速な維持管理を進めてまいります。頂いたご意見につきましては、担当課に情報提供をさせていただき、引き続き道路環境の改善に努めてまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
48	昆虫食を推進する事は安全の確認がなされていない物質を生活に混入させる危険な試みであるため、絶対に止めていただきたい。	頂いたご意見につきましては、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。
49	LGBT 法は日本には不要であるにも関わらずあえて立法化しようとする一部の危険な思想を持った人々に考え直す様なメッセージを出してください。	本市では性的少数者を含め市民の皆様の困難や生きづらさの軽減につなげるための取組を進めています。
50	草加公園のプラスチック使用を減らして下さい。	「第二次草加市環境基本計画(第二版)」では、環境目標として自然環境の保全に加え、生活環境の保全、さらには環境に配慮した行動の実践と拡大についても目標として定めています、具体的な取組に係る事業実施の際の参考にさせていただきます。
51	街中に柔軟剤・洗剤・ファブリーズ等の香料と抗菌剤が充満していき辛い。これらの商品にはマイクロプラスチックが使用されており、人体・環境に有害である。「香害」の周知及び公共の場をフレグランスフリーにしてほしい。	香料に含まれる化学物質を吸い込むことで、頭痛や咳などの症状を発症することがあり、その症状が悪化すると「化学物質過敏症」となるおそれがあります。本市では、その対策として「香りのエチケット」に関するポスターを市ホームページで公開し、市内公共施設で掲示するなど香りのエチケットの周知啓発を行っています。今後におきましても、香料に関する正しい知識の普及啓発を進めてまいります。
52	幼保小中の給食費を無償化するべき。	<p>子育てへの経済的支援につきましては、施策19の【施策の柱と方針】において「こども医療費の支給対象年齢の拡大等、保護者の経済的支援や利便性の向上を図る」こととしています。</p> <p>給食費の無償化につきましては、子育て世代の皆様がこのまち草加で子どもを育ててみたいと思っただけのため様々な子育て施策の一つとして有用であると考えますが、本市の厳しい財政状況の中で、その実現につきましては、難しいものと考えております。</p> <p>なお、小中学校につきましては、学校給食の質と量を維持するため、小中学校に対して学校給食食材費補助金を交付し、保護者負担を増やすことのないよう物価高騰に対応する措置を講じています。</p> <p>子育て世代の経済的負担の軽減につきましては、保育の多様なニーズへの対応、子どもの育ちを支える環境づくりなどの総合的な観点から慎重に検討してまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
53	草加市内 4 校の県立高 3 年生に草加市議との接点を作り、質疑応答の場を設けてほしい。	投票率を増加させるための施策の一つとして、参考とさせていただきます。
54	家の近くの横断歩道はちょっとした雨でもすぐに冠水してしまう。目の前は小学生の通学路等として使っているため、安全対策をお願いしたい。	本市では大型台風や局地的大雨など激甚化する風水害に備え、排水路、排水施設の整備や適正な維持管理など、総合的な治水対策を計画的に進めております。また、通学路の安全対策の取組として、埼玉県の第 5 期通学路整備計画に基づき、対策が必要な箇所において、令和4年度(2022 年度)から令和 8 年度(2026 年度)までの 5 か年計画で、ポストコーンやグリーンベルトの設置などの安全対策を早急を実施しております。
55	市の補助で希望者全者に MR ワクチンの助成を設けてほしい。	本市では、赤ちゃんを先天性風疹症候群から守るために妊娠を希望する女性(16 歳以上 49 歳以下)と妊婦の夫、妊婦の同居家族に対し、予防接種の費用の一部を助成しています。また、埼玉県では、妊娠を希望する 18 歳以上 49 歳以下の女性とその同居者に対し、風しんの抗体検査の補助事業を実施しています。今後についても、国から示されたガイドラインに沿って事業を実施してまいります。
56	パリポリくんバスのコースについて、住宅地がメインである現在の停留所を大きめのスーパーやケーズ電機やニトリなどのすぐ近くにバス停があるとより利用しやすい。	パリポリくんバスにつきましては、市内の交通不便地域の解消を目的として平成 28 年(2016 年)から導入しておりますが、引き続き、利便性の高い公共交通の確保が求められていると認識しております。このため、施策 5 の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、(中略)地域の实情に合った公共交通の方向性を検討」するとしています。地域の皆様の暮らしの足を支えるパリポリくんバスにつきましては、頂いたご意見を参考とさせていただき、引き続きバス事業者、地元の方と連携、協力して、地域の实情に合わせた事業展開を検討してまいります。
57	草加市の姉妹都市を市民に広く知ってもらうため、これまでの歩みを展示したり文庫として残して若い市民の世界との交流参加をお願いしたい。	施策 28「国際交流・地域間交流の推進」の【施策の意図】では、「様々な交流を通して相互の文化を理解します」としており、事業の推進に努めているところでございます。今回頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の際の参考とさせていただきます。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
58	子どもに「ふれあい教室」に通って欲しいが、教育支援室の建物が古すぎて、行きたい気持ちにならないと言われている。明るい気分になる様な空間ではなく、地震が起きたらと思うと心配な古さの建物である。	教育環境の整備につきましては、施策 22 の【施策の柱と方針】において、「計画的に学校教育施設の回収や長寿化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備」していくものとしています。頂いたご意見につきましては、今後の施設整備の際の参考とさせていただきます。
59	育児中、とりわけ育休中の母にとってさらに草加の育児最高！って都市にしてほしい。	育休中の方々が安心して子育てしながら仕事にも復帰できるよう、保育環境や地域が子育てを見守る環境づくりを進めてまいります。
60	草加は公園が古く狭い。広げられないにしても草花を整備し、遊具の見直しをして欲しい、バリアフリーにも目を向けてほしい。	施策 2「みどりの保全と公園の再生」の【施策の柱と方針】において、子どもたちが安全に遊べる環境や緑地の保全等について方針等を記載しております。頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
61	週 2.3 のパートでも保育園に子供を預けられる環境を整えるのは難しいのか。	現在、保育園へ入園するための就労条件が1か月64 時間以上となっています。色々な働き方がある中で、育児と仕事の両立がしやすいような保育提供体制を検討してまいります。
62	施策 32「スポーツの推進」について、競うことに重きをおき、より子供達の運動能力向上をできる機会を作ってほしい。運動会での徒競走復活も望みます。	施策 32「スポーツの推進」の【施策の意図】では、「だれもが、いつでも どこでも いつまでも スポーツに取り組める環境をつくります」としています。頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
63	近くに保育園が少なく、子どもが多い地域なので保育園を増やしてほしい。	現在、保育園のニーズに対応するため、既存の保育施設において、保育士の配置を工夫するなど柔軟な見直しを行っております。今後におきましては、頂いたご意見を参考に、総合的な観点から保育提供体制について検討してまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
64	値上げ(光熱費、食費、物価)ばかりで子ども 1 人育てるのも苦しいため、子育て支援の取り組みに力を入れてほしい。	施策 19 の【施策の柱と方針】では、子育て支援を推進するため、「子育てへの経済的支援」を行うこととしており、「こども医療費の支給対象年齢の拡大等、保護者の経済的支援や利便性の向上を図ってまいります」としています。また、電気・ガス・食料等の物価高騰の影響を受けた子育て世帯に対する「子育て世帯応援給付金」の給付や学校給食の食材費を維持するなどの支援を行ってまいりましたが、引き続き、子どもを産み育てたいと思う魅力的なまちとして選んでいただけるよう、適切な支援を検討してまいります。
65	福祉タクシー券の利用枚数制限をなくしてほしい。	福祉タクシー券については、県と事業者との広域協定による運用を行っていることから、利用枚数について制限があります。これまで1乗車につき1枚の利用とする協定だったところ、利用者の方々からのご意見を受けて市から県へ要望し、令和 5 年度分(2023年度分)からは、1 回の乗車で初乗運賃の 2 倍以上の料金となった場合に限り 2 枚までの利用を可能としたほか、手続きの簡略化などを行ったところです。引き続き、頂いたご意見を参考にさせていただき、当制度の利便性の向上に努め、障害のある方の生活への支援に努めてまいります。
66	生活困窮者が社会的に自立できる様に支援してほしい(物価高、電気料金高、ガス料金の高騰)	施策 27 の【施策の柱と方針】では、生活保護世帯・生活困窮者の自立支援として、「それぞれの世帯の状況に応じた自立支援を行います。」としています。また、近年の物価高や電気料金、ガス料金の高騰による家計への影響に対する支援策として、住民税非課税世帯給付金などを臨時的に給付するほか、生活困窮者自立相談支援窓口(まるごとサポートSOKA)において、それぞれの世帯の状況に応じた支援を行っているところです。引き続き、計画の方針に基づき、生活にお困りの方への悩みを整理しながら、きめ細やかな支援を行ってまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
67	越谷市では、浸水した時の水位について電柱に標示がある。柿木は中川が近く、氾濫の危険があるのでどの位の水位になるのかの目安があるとよい。	施策 9 の【施策の柱と方針】では、「住民の自助の意識を向上させる活動を行います」としており、その手法の一つとして、ハザードマップの作成や住民向けの映像作成、市広報での啓発など、周知を行っております。また、現在防災行政無線に想定浸水深を表示しているが、それに加え電柱など、まちなかに想定浸水深等を標示する取組も行っておりますので、頂いたご意見を参考にさせていただき、引き続き、日頃から市民一人ひとりの意識が向上する取組を行うとともに、災害などの危機に負けないまちづくりを推進してまいります。
68	八条橋の混雑を解消するための道路の整備をお願いしたい。	施策 6 の【施策の柱と方針】では、「事業未着手の都市計画道路については、改めて必要性を精査するとともに、県・関係自治体と調整を行い、事業着手や必要に応じた計画の見直しを検討します」としています。既存道路における慢性的な渋滞発生については、国や県、埼玉県警察、近隣自治体と情報を共有し、渋滞緩和対策の検討を進めてまいります。
69	障がいのある子が高校を卒業した後の居場所作りにもっと支援をしていただきたい。	障がいのある方が自ら望む地域生活を営むことができるよう、それぞれのニーズに基づいたきめ細やかな対応を図ることが必要であると考えております。施策 26 の【施策の柱と方針】では、「生活環境への支援」として、「民間による高機能グループホームの整備や重度の障がい者の日中活動の場の充実」を行うとともに、「障がいに対する理解や多様な側面で地域社会とのつながりを強化し、障がいがある人とない人が交流できる機械等の充実を図りながら、地域における障がい者の社会参加促進等につながる取組を行ってまいります」と記載しています。引き続き、障がいのある方とその関係者が地域で豊かな暮らしを実現させるための取組を行ってまいります。
70	障がいのある子をもつ家庭も安心して仕事ができる環境づくりに支援をしていただきたい。	就労を含め、障がいのある方や家族が地域で生活することへの安心感を高めるために、障がい者団体やボランティア団体による活動、NPO活動、そして多くの市民の理解と協力を促進し、きめ細やかなサービス提供を行う必要があります。頂いたご意見を参考に、引き続き施策を検討してまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
71	障がいのある子の居場所を作っている法人への支援をもっとしていただきたい。	施策 26「障がい者福祉の推進」の【施策の意図】において、ソフト面とハード面の両輪で環境の整備を掲げております。頂いたご意見を参考に、引き続き施策に取り組んでまいります。
72	渋滞緩和や事故防止のため、獨協大学前草加松原駅西口からコス・パ 松原前から松原団地西口公園トイレ前の道で三町稻荷通りを渡りコンフォールへの横断歩道に手押し信号を設置してほしい。	適切な信号機や道路標識の配置は、地域の皆様の安全かつ円滑な交通環境を確保するため有効であると認識しております。頂いたご意見を参考に、信号機の設置者である埼玉県警察署と連携して、良好な交通環境の整備を計画的に進めてまいります。
73	市内のスクランブル交差点において、ルールを守り自転車を降りて渡っている人がほとんどいない。事故が起きてからでは間に合わない。	自転車のマナー向上につきましては、施策 8 の【施策の柱と方針】において、「交通安全教室の開催や街頭活動等の実施により、交通安全意識の普及を図るとともに、交通安全の啓発パトロールを行い、交通事故の防止に努めます」と記載しています。本市では、平成 29 年(2017 年)9 月に「草加市自転車の安全な利用に関する条例」を制定し、自転車の安全な利用を促進する取組を進めております。引き続き、自転車のマナー向上について広く周知するとともに、関係機関と連携して交通安全運動を展開するに当たり、今回頂いたご意見を参考とさせていただきます。
74	現在、病気で身体が不自由で病院に行くにはタクシーを利用している。	施策 5「交通利用環境の改善促進」の【施策の意図】では、「市内全域を円滑に移動できるよう、利便性の高い公共交通を確保します」としています。今後におきましても、公共交通の利便性の確保や新たなモビリティサービスについて研究を進めてまいります。頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
75	<p>年齢を重ねて、文化会館や草加公園に行く際に電車に乗るのが大変。パリポリくんバスについて、庁舎から柿木方面までのルートがあると便利だと思う。柿木から庁舎に行くのがとても不便だという知人の声も聞いている。</p>	<p>パリポリくんバスにつきましては、市内の交通不便地域の解消を目的として平成28年(2016年)から導入しておりますが、引き続き、利便性の高い公共交通の確保が求められていると認識しております。このため、施策5の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、(中略)地域の实情に合った公共交通の方向性を検討」するとしています。地域の皆様の暮らしの足を支えるパリポリくんバスにつきましては、社会情勢や交通環境の変化を丁寧に捉えながら、引き続きバス事業者、地元の方と連携、協力して、地域の实情に合わせた事業展開を検討してまいります。</p>
76	<p>高齢になり免許を返納したため、バスを2回乗り継いで病院に通院している。治療代より交通費の方が高くなることもある。 高齢者はミニバス等を使って気軽に外出ができる。草加の町中をもっと活性化して楽しく生活できるようになると思う。安全と安心なまちづくりを実現してほしい。</p>	<p>近年、バスに対する高年者のニーズは高まっており、利便性の高い公共交通の確保が求められていると認識しております。このため、施策5の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、(中略)地域の实情に合った公共交通の方向性を検討」するとしています。頂いたご意見を参考とさせていただきますながら、今後策定予定である「草加市地域公共交通計画」の中で、高年者や運転免許証返納者をはじめとした、誰もが移動しやすい公共交通環境と将来にわたって持続可能な公共交通の形成を目指して、協議・調整を進めてまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
77	<p>施策 8 について、私は病院で働いており、お年寄りの方が多く通院しているが、谷古宇橋まで通う手段がタクシーか車しかない。度々、患者の方から免許を返納してしまいバスがないかと多く聞かれる。草加文化会館から谷古宇橋を通り市立病院までのルートにしてもらえないか。獨協大学駅前から歩くのもお年寄りには距離があり、タクシーでは 1,000 円弱かかるため、医療費より交通費が高く、かなりの負担であるとの声を聞いている。お年寄りにやさしい世の中になってほしい。</p>	<p>近年、バスに対する高年者のニーズは高まっており、利便性の高い公共交通の確保が求められていると認識しております。</p> <p>このため、施策 5 の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、(中略)地域の实情に合った公共交通の方向性を検討」するとしています。</p> <p>頂いたご意見を参考とさせていただきながら、今後策定予定である「草加市地域公共交通計画」の中で、高年者や運転免許返納者をはじめとした、誰もが移動しやすい公共交通環境と将来にわたって持続可能な公共交通の形成を目指して、協議・調整を進めてまいります。</p>
78	<p>子育てについて、市としても事業実施のために財源を確保する必要がある。例えば、事業を進めやすくするために、子育て・子育てに特化したファンドや基金などを創設すべき。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、参考とさせていただき、子どもたちが将来成長したときに草加に住んで良かった、これからも草加に住み続けたいと思ってもらえるような視点を持ちながら、施策を検討してまいります。</p>
79	<p>「谷塚駅東西の開発と街の活性化」について。谷塚駅については、現在も空間をもて余している。文教大学足立校の最寄駅となったことで、街が活性化するチャンスである。商店街も高齢化で閉店し、賃貸アパートに。掛声は大きいが開発の工程、青写真が見えない。空地を無駄使いしている。この現状をどう考えるのか。地元商店会任せではなく、市の積極的な介入を希望する。</p>	<p>本市といたしましても、文教大学あだちキャンパスの最寄り駅であることを踏まえ、文教大学と商店会の活性化に取り組むなど徐々に連携をはかっております。また、谷塚駅西口につきましては、駅前広場の整備などについて、権利者や駅利用者の皆様からご意見を頂きながら、令和6年度(2024 年度)までの基本計画策定に向けて取り組んでいるところでございますので、今後の事業実施に当たっての参考とさせていただきます。</p>
80	<p>子育てについて。不登校の子の第3の居場所を作ってほしい。冒険遊び場は遠方の人には使えない。</p>	<p>不登校児童生徒を含めた、多様なニーズに対応した教育機会の提供につきましては、施策 20「幼保小中を一貫した教育の推進」の【施策の柱と方針】において、一人ひとりのニーズに応じ、関係機関と連携した支援の充実を図ることとしています。</p> <p>頂いたご意見につきましては、具体的な施策を検討するに当たり、参考とさせていただきます。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
81	小学校区ごとにボールで遊べる公園を作してほしい。	騒音や危険性などを踏まえ、一定の広さがあり、住宅地に隣接していない公園を新たに整備する際には、地域や周辺住民の方々による話合いに応じて、ネットやフェンスを設置し、ボール遊びができるような整備を検討していきます。
82	免許を返納してからは松原方面へ行くバス便がなく、毎週タクシーを利用しており、予約が出来ず苦労している。松原方面には市立病院まで歩いて行くしか方法がなく、15～20分程度かかる。バス路線が繋がるよう、配慮してほしい。	バス路線については、バス事業者とともに道路整備などの進捗を注視しながら、路線再編成の可能性について検討していくとともに、今後においては、今年度(令和5年度)に策定を予定している草加市地域公共交通計画において、新たな生活様式の定着や高齢者の運転免許証の返納など、公共交通を取り巻く背景を踏まえ、地域の実情に合った移動手段の確保や新たな移動手段の導入可能性を検討し、誰もが安全で移動しやすい公共交通環境と将来にわたって持続可能な公共交通の形成を目指してまいります。
83	危機管理体制の強化や障害者福祉の推進について。今後具体的に、障害者に配慮した災害時の避難所作りを考えてほしい。障害児、障害者の方々には様々な障害があり、日々の生活でも周囲に配慮して生活をしている。災害時の避難について考えた時に、それぞれの家庭が同じ場所に避難し過ごす時に皆自分達の事で精一杯で、他者を思いやる事などが難しい場合があると思う。同じ避難所であっても、障害児、障害者、その家族と健常者だけの家族とで、空間を分けたりする事でそれぞれが安心して安全を守る行動が出来るのではないかな。今後の防災、障害者福祉の観点からも具体的に検討してほしい。	草加市では、草加市ユニバーサルデザインアドバイザー制度を創設し、ユニバーサルデザインに関する知識と経験を有するアドバイザーからの助言を公共施設の整備に反映させております。また、各小中学校の避難所については、配慮が必要となる避難者が避難生活を過ごせるよう福祉避難スペースを設けております。防災に関しても、アドバイザーの助言を得るなど、障がいを持つ方々の視点を尊重し、適切に対応するよう検討してまいります。頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
84	草加市の小中学校の教員数は足りているのか。教育費予算が大きく減っている中、教員免許を持っている人を採用する予算を確保できたらよい。例えば、家庭科の先生は1校に2人配置するとか、図工や書写の講師、理科などの専任講師を採用するなど、短時間労働人口が増えればよいと思う。他市に比べて、支援員・補助員が充実していると聞かすが、授業を担当できる先生を増やして教員の負担を減らしてはどうか。教員の長時間かつ重労働を解消させ、教育にお金をかけないと未来を創る子どもたちは育てられないと思う。	次代を担う子どもたちを育むためには、教職員一人一人が学校での仕事と自己の生活とのバランスがとれた働き方をし、心身ともに健康で、意欲を持って子どもたちと向き合うことが大切であると考えております。教職員の業務の合理化・効率化を図るとともに、頂いたご意見を参考とさせていただきます。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
85	<p>姉妹都市「昭和村の道の駅」草加支部の常設。市役所本庁1Fに道の駅常設。同時に野菜トラック販売。周辺、谷塚、松原(文化会館)、新田(草加公園)等が売る努力を行い、野菜トラックは決まった日時にきちっと商売すれば客がつく。</p>	<p>施策 28「国際交流・地域間交流の推進」の【施策の意図】では、「様々な交流を通して相互の文化を理解します」としており、事業の推進に努めているところでございます。今回頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
86	<p>SAITAMA 出会いサポートセンターの「恋たま」の市町村会員に登録してほしい。個人の入会費用が5,000円安くなる。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
87	<p>快適な環境と安心と安全は、生活に対してやさしさを与えらると思う。 この地域の性質や街の立地条件、建物のブロックが崩れやすいと地震に対しては、安全と安心には繋がらない。河川の氾濫や浸水が考えられる場合には、どの位の深さになり、どこへ向かって避難すれば助かるのか。情報が不十分である。 さびている建物、歩道橋もある。歩きやすさも必要だが、NPOと市政、ならびに専門家を含めた災害時の共助、公助を考えた会議が必要だと思う。</p>	<p>施策 9 の【施策の柱と方針】では、「住民の自助の意識を向上させる活動を行います」としており、その手法の一つとして、ハザードマップの作成や住民向けの映像作成、市広報での啓発などへの周知、地震等の自然災害によってブロック塀が倒壊し被害が発生することがないよう危険ブロック塀等の撤去に対し補助金の交付を行っております。また、現在防災行政無線に想定浸水深を表示していますが、それに加え電柱など、まちなかに想定浸水深等を標示する取組も行っておりますので、頂いたご意見を参考にさせていただき、様々な機関と連携を図りながら、日頃から市民一人ひとりの意識が向上する取組を行うとともに、災害などの危機に負けないまちづくりを推進してまいります。</p>
88	<p>車免許返送を考えているが、9:30～11:00までのバスが無く、車が手放せない。予算計上について、パリポくんバスの普及をお願いしたい。市の負担と町会費からの援助等で高齢社地域への配慮をお願いしたい。</p>	<p>バス路線については、バス事業者とともに道路整備などの進捗を注視しながら、路線再編成の可能性について検討していくとともに、今後においては、今年度(令和5年度)に策定を予定している草加市地域公共交通計画において、新たな生活様式の定着や高齢者の運転免許証の返納など、公共交通を取り巻く背景を踏まえ、地域の実情に合った移動手段の確保や新たな移動手段の導入可能性を検討し、誰もが安全で移動しやすい公共交通環境と将来にわたって持続可能な公共交通の形成を目指してまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
89	<p>施策 2 について。吉町地域でも市街地化が進み、空き地や駐車場になっていた民有地に家が建てられ、緑や空間が減少してきています。「地域環境や時代の変化に応じて、コミュニティの形成や防災活動の場として活用できるよう機能改善」だけでなく、すべての地域でできるよう「場の確保」も進めていただきたい。</p>	<p>「場の確保」としての積極的な公園用地の取得については、「草加市みどりの基本計画」において身近な公園が不足している地区として位置付けられた地域では、借地している公園や生産緑地の用地取得に向けて積極的に取り組みます。</p>
90	<p>施策 5 について。団塊の世代の高齢化によって、ますます高齢者の自動車運転免許証返納や体力の低下などによって移動の制限者が増えていることから、人々が思うように移動できるよう新たな手段方法を、専門家や市民のプラン・意見も聞きながら早急に研究をまとめ、施策の具体化をしてほしい。</p>	<p>新たな移動手段方法につきましては、少子高齢化により移動に要する時間が増えていることから、今後を見据えた公共交通の在り方について考える必要があると認識しております。このため、施策 5 の【施策の柱と方針】において、「交通利用環境の改善推進」と位置付け、「地域全体の輸送資源の有効活用を検討するとともに、新たなモビリティサービスについて研究を進めます」としています。具体的には、今後策定予定である「草加市地域公共交通計画」の中で、高年者や運転免許証返納者をはじめとした、誰もが移動しやすい公共交通環境と将来にわたって持続可能な公共交通の形成を目指して、協議・調整を進めてまいります。</p>
91	<p>施策 9 について。地域防災力の強化に向け、「自主防災組織の整備・育成」が記載されている。必要な活動と思うので、自主防災組織の活動先進例・交流などで活動の活発化が図れればと思う。</p>	<p>施策 9「危機管理体制の強化」の【施策の意図】で掲げている自助・共助・公助による災害に強いまちづくりを推進するため、頂いたご意見を参考とさせていただきます。効果的な取組について検討してまいります。</p>
92	<p>施策 15 について。市内の「健全な労使関係」の実現に向けて、まず公務関係がその先頭・模範に立っていただきたい。草加市公契約条例の適用範囲拡大など条例の力をもっと発揮できるよう見直して、地域全体の健全な労使関係づくりに努めてほしい。</p>	<p>少子高齢化が加速化している中において、それらに対応すべく、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現を可能にしていく「働き方改革」の推進が求められております。なお、草加市公契約基本条例の適用範囲のうち、「工事又は製造の請負契約」につきましては、令和5年(2023年)4月1日から、適用範囲を1億 5,000 万円から 3,000 万円引き下げ、1億 2,000 万円とさせていただいたところでございます。今後につきましても、条例の趣旨にのっとり、地域全体の健全な労使関係づくりに努めてまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
93	<p>施策 30 について。社会教育施設の充実とともに、公民館、文化センターや図書館などの人的配置は重要である。コスト論による非正規職員でなく、地域の社会教育充実のために、地域に根づき、安心・安定して働ける正規の専門職による企画・立案、継続的な活動も必要。</p>	<p>生涯学習環境の充実においては、社会教育施設における職員の役割が重要であると考えております。引き続き、社会教育施設における職員の能力向上に努めるとともに、頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます、身近で地域性をいかした学習機会の提供等に努めてまいります。</p>
94	<p>施策 26 及び手話言語条例に基づき、手話が言語という理解を深める施策をお願いしたい。</p>	<p>施策 26「障がい者福祉の推進」の【施策の柱と方針】の中において、手話が言語であることの理解を深めるため、普及・促進していくことを掲げております。頂いたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます、手話が言語という理解を深めるよう取組を行ってまいります。</p>
95	<p>誰もが安心して暮らしやすい共生社会の実現のために、障害のそれぞれの特性の理解を市民や事業者に深める取り組みをお願いしたい。</p>	<p>施策 26「障がい者福祉の推進」の【施策の柱と方針】の中において、障がいに対する理解や多様な側面で地域社会とのつながりを強化し、障がいがある人とない人が交流できる機会等の充実を図りながら、地域における障がい者の社会参加促進等につながる取組を行ってまいります。頂いたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます、取組を行ってまいります。</p>
96	<p>聴覚障がい者が安心して利用出来る公共施設が、まだまだ不足していると思う。施策 26 公共の場のユニバーサルデザイン化の課題の改善を進めてほしい。</p>	<p>施策 17「心地よいまちづくりの推進」の【施策の柱と方針】の中において、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方に基づいた施設や環境の整備などを推進していくことを掲げております。頂いたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます、障がい者福祉の推進を念頭に置きながら取組を進めてまいります。</p>
97	<p>通勤で使う遊歩道に犬のフンを始末しない方が週 2・3 回、目にするため不快に感じる。皆が心よく住める草加でいてほしいと思う。</p>	<p>本市では、平成 18 年(2006 年)3 月に「草加市ポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例」を制定しており、第 8 条において、「飼い主等は、公共の場所等に当該飼い犬のふんを放置してはならない」としております。条例の周知につきましては、市主催のイベント等で啓発を行っているところですが、引き続き、飼い主のマナーやモラルの向上に向け、条例の周知を徹底してまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
98	<p>具体的な「温室効果ガス排出量削減」施策の構築にあたっては、再生可能エネルギーのみに頼ることなく、多様なエネルギーを効率的・効果的に利用することで供給不安定性のリスクを補い、省エネルギーやエネルギーセキュリティの向上に資する内容となるよう、検討いただきたい。</p>	<p>温室効果ガス排出量削減の取組につきましては、環境基本計画に基づき、省エネルギー・創エネルギーの推進、3R(発生抑制・再利用・再生利用)の推進など、様々な取組を推進しているところです。引き続き、温室効果ガス排出量削減に向けた取組を進めていき、再生可能エネルギーのみではなく、多様なエネルギーの活用についても検討してまいります。今回頂いたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
99	<p>「環境教育の充実」にあたっては、特にライフライン事業者のノウハウの活用を視野に、民間事業者と各学校・市環境部門との連携について推進していただきたい。</p>	<p>環境教育の充実につきましては、本市において、令和3年(2021年)4月に埼玉県東南部地域5市1町による「ゼロカーボンシティ」共同宣言を表明し、それに基づく事業として、ゼロカーボンシティ講演会を開催し、脱炭素社会の推進に向けた市民等に対する環境への意識付けの取組を行っているところです。引き続き、脱炭素社会の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって連携していき、一人ひとりが環境の重要性を再認識するよう環境学習の充実を図ってまいります。</p>
100	<p>木造密集住宅地域における「災害時の火災延焼の予防」施策として、消防当局および関係機関と連携した「住宅用火災警報器等」の普及促進を図る施策を検討いただきたい。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。今後におきましても関係機関との連携を図りながら、普及促進のための意識啓発を行うとともに、施策について検討してまいります。</p>
101	<p>無電柱化の推進について、電線の地中化における「電線占有条件(埋設深さ・位置、他埋設物からの離隔等)」を明確にし、適切に運用していただきたい。</p>	<p>無電柱化の推進につきましては、施策6の【施策の柱と方針】において、「幹線道路の整備」を掲げており、「草加市無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化に取り組んでいます。そのため、災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の整備を進めてまいります。</p>
102	<p>無電柱化の推進について、地中埋設物に関わる「多数の関連企業・関係者」との調整と、計画的な事業運営を心掛けていただきたい。</p>	<p>無電柱化の推進につきましては、施策6の【施策の柱と方針】において、「幹線道路の整備」を掲げており、「草加市無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化に取り組んでいます。無電柱化を推進するに当たり、関連企業や関係者との調整については一層丁寧に進め、計画的な事業運営に取り組んでまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
103	無電柱化の推進について、地中工事を施工される際には、東部導管ネットワークセンター 照会工事 G(維持管理業務部所)に工事照会をお申出いただきたい。	無電柱化の推進につきましては、施策6の【施策の柱と方針】において、「幹線道路の整備」を掲げており、「草加市無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化に取り組んでいます。災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、必要な照会等につきましては、随時行ってまいります。
104	学校教育施設や公共施設においては、利用するエネルギーの多重化を図ることを通じて発災時の避難所施設としても機能でき、かつ平時からもエネルギーを効率的に利用するガスシステム等の採用を推進していただきたい。	学校教育施設や公共施設につきましては、施策40「計画的で効果的な行政の推進」の【施策の柱と方針】において、「中長期的な視点で財源を確保しながら公共施設等総合管理計画に基づき公共施設の更新を進めます」としています。利用するエネルギーや導入する設備に当たりましては、公共施設等総合管理計画にのっとり、高効率設備の導入、太陽光発電装置の設置など、再生可能エネルギーの導入などを推進するとともに、災害発生時の避難所等防災拠点としての機能・役割を担えるよう、持続可能な施設整備・運営に向けた取組を進めてまいります。
105	施策4について。草加駅前開発も検討してはどうか。商業施設もあまり活気がないように思える。若者や起業家が活躍できたり、草加市の古き良きものをアピールできる駅前にしてほしい。コンサルタントに委託するなど、画期的な取組が必要だと思う。	草加駅前につきましては、本計画において、駅周辺を都市核と位置付け、商業業務地として官民が連携した地域経済の活性化を図っており、様々な機能が集中した魅力的なまちづくりを進めているところです。また、施策41「広域行政・官民連携の推進」では、民間等との連携により効果的な行政サービスを提供することを目的とした課題解決につながる「官民連携の推進」を【施策の柱と方針】としております。この度頂きましたご意見につきましては、今後、駅前商業施設をはじめ、駅周辺の活性化を検討する際など、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
106	施策16について。まちの魅力向上やにぎわいの創出のため祭りやイベントを検討してはどうか。	観光の側面からにぎわい創出のための施策の検討や市の魅力を発信していくことは大変重要な取組であると認識しております。頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。今後におきましても、現在策定中の第三次草加市観光基本計画の方針に基づきながら、魅力ある観光の推進に向けた効果的な取組を進めてまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
107	<p>施策 19について。保育に関わる人材を増やす必要があると思うが、具体案が見えない(待遇の改善なのか人材確保の方法なのか)。「ぼっくるん」の更新があまりされていない印象なので、内容の充実と共に改善を続けるべき。</p>	<p>頂いたご意見を参考に、保育に関わる人材を増やすための具体的な方策を検討します。あわせて、「ぼっくるん」の内容を充実させ、子育てに関わる方々が求める情報を得られやすくなるよう努めてまいります。</p>
108	<p>施策 20～23について。概ね充実していると思う。アイデンティティとしての「草加っこ」が共有され、草加で育ったことを誇りに思える大人になってくれることを願っている。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
109	<p>施策 28 について。多くの外国人も住んでいることから、国際交流をより活性化させるといいと思う。PR に力をいれて、若い世代を巻き込むべき。</p>	<p>国際交流の推進につきましては、市役所内において、国際相談コーナーを設置しており、国際理解の啓発に向けた取組や外国籍市民間と市民との交流事業に取り組んでおります。また、外国籍の出店者や市内の学生、市内の国際交流協力団体など多くの方のご協力を得て、「草加国際村一番地 国際交流フェスティバル」を開催するなど、若い世代との積極的な交流機会をつくっているところです。本市の外国人人口は年々増加していることから、異なる文化や生活習慣に関する市民の理解を深めるよう、学習や交流の機会を充実させてまいります。</p>
110	<p>綾瀬川の水が汚い。川に入っても問題ないレベルまでのキレイさにしてほしい。氾濫したときに、この汚れた水が流れてくると思うと怖い。</p>	<p>綾瀬川の管理につきましては、施策 1 の【施策の柱と方針】において、国や流域自治体との協働により、公共下水道の整備や事業系排水の規制強化等、様々な対策を講じてきたことで水質改善に取り組んでまいりました。また、各団体との共催により、「綾瀬川流域クリーン大作戦」を実施し、河川周辺の清掃、川に投棄された自転車や粗大ごみの引き上げなどを行っているところです。国土交通省において、「清流ルネッサンス 2(水環境改善緊急行動計画)」の一環として、綾瀬川の水質浄化導水事業に取り組んでおりますが、本市におきましても、引き続き、国や流域自治体と連携を図りながら、水環境の改善に取り組んでまいります。</p>

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
111	草加市は都内に近いにもかかわらず、その利点も生かせなくて、ただの通過点になっていると思う。改善に向けて西新井のギャラクシティの様な遊べて学べて、みんなが行きたくなる様な施設を市が運営するものとして、ぜひ作ってほしい。草加市のイメージも良くなると思う。	施策 41「広域行政・官民連携の推進」では、民間の知識や経験、資金等を活用する官民連携手法について記載をしているところでございます。頂いたご意見につきましては、事業実施の参考とさせていただきます。今後におきましては、市民の皆様にご満足いただけるような様々な機能を備えた複合施設等の設置に向けた検討を進めてまいります。
112	建て替えた学校は、校舎も外周も明るくてピカピカなのに、うちの近くの学校は、校舎も回りもきたなくてうす暗い。防犯のためにも、せめて回りだけでも明るくしてほしい。	教育環境の整備・充実につきましては、施策 22「教育環境の整備・充実」の【施策の柱と方針】において、計画的に学校教育施設の改修や長寿命化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備していくものとしています。頂いたご意見につきましては、具体的な環境整備に当たり参考とさせていただきます。
113	道幅を広くする計画があると聞いたが、建物を建てている。新田駅西口の開発はあまり進んでいない。実行力がないと思う。(旭町郵便局があった道)	本市における、都市計画に関する基本的な方針につきましては、「草加市都市計画マスタープラン」で定めており、道路の整備は「幹線道路」「補助幹線道路」「主要生活道路」「生活道路」の4つに区分し、それぞれ体系的な整備を図っています。また、道路拡幅につきましては、土地所有者と交渉を行いながら、適切な道路幅員の確保を進めてまいります。新田駅西口の開発につきましては、新田駅西口土地区画整理事業の事業計画に基づき、都市基盤整備を進めているところです。引き続き、それぞれの計画に基づき、まちづくりに取り組んでいくとともに、地区ごとの課題解決・資源活用を進めてまいります。
114	「水と緑の町作り」と謳っているわりには、年々、草加市内の田畑や豊かな緑が生い茂っていた土地は、住宅や倉庫が建ち、「住宅とコンクリートの町作り」となっている。「せんべいの町」と謳っているわりには、地元でとれた米を使わず、ただせんべいを焼いて売っているだけの観光活動。草加市の取り組みは、全て中途半端な「口だけ」活動をしているように見えてしかたない。地産地消や農地を保全する取り組みなどを行い、緑豊かな草加になるよう取り組んでほしい。	頂いたご意見につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。今後におきましては、「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」に基づきながら、「だれもが幸せなまち」の実現に向けて、施策の検討及び効果的な取組を進めてまいります。

No	ご意見の概要	市の考え方、対応(案)
115	<p>国際交流・地域間交流の推進について、単純に言語交換だけでなく、草加市ならではの(浴衣のこと、歴史や作り方の背景、紋様の意味など)の情報を提供する機会や、職人体験のようなことも交えた国際交流は実現できないか。</p> <p>対海外の方だけでなく、対草加市に在住する人にとってもいい機会になるように思う。</p>	<p>草加の三大地場産業の1つである本染めゆかたにつきましては、事業承継のための注染講座の開催など、後継人材の育成に向けた取組を支援してまいりました。頂いたご意見につきましては、事業実施の参考とさせていただくとともに、今後につきましても、若い世代の方々等と連携を図りながら、情報発信などの機会の1つとして、国際交流等の推進に向けた取組を進めてまいります。</p>